

氏 名 (法人にあっては名称)	株式会社アムニティ電力
住 所	福岡県久留米市三潆町田川 3 2 - 3

自 社 等 発 電 所 (*1) の 有 無	無		
電 気 事 業 の 概 要	小売電気事業 主な供給先：工場、オフィスビル、 供給エリア：九州、関西、中国		
電気の供給における 温室効果ガスの排出 の抑制等に関する 推 進 体 制	電力事業部において、再生可能エネルギーの導入計画等の検討を実施。 固定買取価格制度終了太陽光設備の再利用を検討。 実質的排出量削減のため排出クレジットを活用。		
電気の供給における 温室効果ガスの排出 の量の抑制に関する 措 置 及 び 目 標	年 度	実排出係数(*2)	調整後排出係数(*3)
	前年度実績（2019年度）	0.483（kg-CO ₂ /kWh）	0.500（kg-CO ₂ /kWh）
	当年度目標（2020年度）	0.483（kg-CO ₂ /kWh）	0.500（kg-CO ₂ /kWh）
	短期目標（2025年度）	0.480（kg-CO ₂ /kWh）	0.495（kg-CO ₂ /kWh）
	長期目標（2030年度）	未定（kg-CO ₂ /kWh）	未定（kg-CO ₂ /kWh）
	（目標に係る措置の考え方）		
	引き続き目標設定及び具体的な措置を検討してまいります		

*1 自社等発電所とは、自己が所有する発電所及び経営支配下においている子会社が所有する発電所をいう。

*2 実排出係数とは、市内への電気の供給に伴う二酸化炭素排出量（実二酸化炭素排出量）を市内への電気の供給量（電気供給量）で除したものをいう。

*3 調整後排出係数とは、実二酸化炭素排出量から償却前移転した京都メカニズムクレジット等を控除したものを、電気供給量で除したものをいう。

電気の供給における再生可能エネルギーの利用の拡大に関する措置及び目標	自社等発電所における再生可能エネルギーによる発電量の割合の拡大に関する措置及び目標		
	年 度	再生可能エネルギー発電量(*4)	再生可能エネルギー導入率(*5)
	前年度実績 (2019 年度)	0.000 (千kWh)	0.00 (%)
	当年度目標 (2020 年度)	0 (千kWh)	0.00 (%)
	短期目標 (2025 年度)	0 (千kWh)	0.00 (%)
	長期目標 (2030 年度)	0 (千kWh)	0.00 (%)
	(目標に係る措置の内容)		
	自社発電所を所有しておりません		
	調達分を含む再生可能エネルギーの環境価値の確保量の割合の拡大に関する措置及び目標		
	年 度	環境価値の確保量(*6)	環境価値の確保率(*7)
前年度実績 (2019 年度)	0.588 (千kWh)	0.22 (%)	
当年度目標 (2020 年度)	0.033 (千kWh)	0.03 (%)	
短期目標 (2025 年度)	未定 (千kWh)	未定 (%)	
長期目標 (2030 年度)	未定 (千kWh)	未定 (%)	
(目標に係る措置の内容)			
目標設定及び具体的な措置を検討してまいります			
電気の供給における未利用エネルギー(*8)による発電量の割合の拡大に関する措置及び目標	検討中		
火力発電所における熱効率の向上を図るための措置及び目標	自社発電所を所有しておりません		
本市の区域内に存する電気の需用者に対する地球温暖化の防止に資する取組	電気使用状況を確認できる資料の提供等		
その他の地球温暖化の防止に貢献する取組	グループ会社全体で社用車をシェアリングすることにより、社用車の削減を実施中。今期中に約2割削減予定。		

*4 再生可能エネルギー発電量とは、自社等発電所における再生可能エネルギー（太陽光、風力その他非化石エネルギーのうち、エネルギーとして永続的に使用することができるもの）による発電量のうち市内分をいう。

*5 再生可能エネルギー導入率とは、上記の発電量を自社等発電所における発電量のうち市内分で除したものをいう。

*6 環境価値の確保量とは、自社等発電所における再生可能エネルギーによる発電量、他の一般電気事業者等の発電所における再生可能エネルギーによって発電された電気の購入量及び購入した環境価値の量を合算したもののうち市内分をいう。

*7 環境価値の確保率とは、上記の確保量を電気の供給量のうち市内分で除したものをいう。

*8 未利用エネルギーとは、発電に利用するエネルギーのうち、工場の廃熱又は排圧、廃棄物（バイオマスを除く）の燃焼熱、超高圧地中送電線からの廃熱、変電所の廃熱及び高炉ガスその他の副生ガス等のエネルギーをいう。